

令和6年度 第3回 全国健康保険協会千葉支部評議会概要報告（速報）

開催日	令和7年1月17日（金） 10:00～12:00
開催場所	日本生命千葉駅前ビル4階 千葉支部会議室
出席者	尾関評議員、椎名評議員、新谷評議員、中曽根評議員、長根評議員、中野評議員、宮本評議員、山口評議員、山本評議員（五十音順）
議題	<ol style="list-style-type: none"> インセンティブ制度における令和5年度実績について【報告事項】 令和7年度千葉支部保険料率について【審議事項】 令和7年度支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について【審議事項】 その他報告について【報告事項】
議事概要（主な意見等）	
<p>事務局より、各議題について説明を行った。 各評議員からのご意見等は以下の通りである。</p> <p>1. インセンティブ制度における令和5年度実績について【報告事項】</p> <p>【学識経験者】 インセンティブ制度の順位について千葉支部の令和4年度実績は何位だったか。</p> <p>【事務局】 令和4年度実績は総合38位であった。令和5年度実績は総合40位と順位を落としたが、令和元年度実績の総合47位、令和2年度46位、令和3年度43位と少しずつではあるが順位を上げてきている。</p> <p>【被保険者代表】 以前から意見しているが、加入者数が多い支部ほどインセンティブ制度の順位を上げることは難しいと思う。同じくらいの加入者数の規模の支部同士が競えるように複数のブロックに分ける等、制度の見直しが必要ではないか。現行の制度の中で、全国的に加入者数の規模の大きい千葉支部が順位を上げることは難しいと思うが、どのような施策を考えているか。</p> <p>【事務局】 一気に順位を上げることは難しいと思っている。健診や保健指導等の実施について地道に努力していくしかないと思う。加えて、加入者及び事業主に対して制度の仕組みや意義を理解していただけるよう効果的な周知広報も行って参りたい。 また、現行のインセンティブ制度の見直しについては、第6期保険者機能強化アクションプランの中で、インセンティブ制度に対する政府の方針、健康保険組合や共済組合における後期高齢者支援金の加算減算制度の実施状況等を踏まえ、検討に着手することとしている。</p>	

【被保険者代表】

毎年度同じような傾向でインセンティブがもらえないことで、加入者・事業主が取組の実施に対して意欲が無くなってしまいう可能性もある。全ての項目の順位を上げることは難しいが、1つでも項目の順位が上位支部になれるよう努めていただきたい。

【事務局】

インセンティブを獲得することだけを目的にせず、まずは加入者に健康になってもらうことを目的とし、将来の医療費の増加を抑制できるように健診や保健指導等の勧奨に努め、結果としてインセンティブが獲得できるところまで段階的に近づけるようにしたい。

【被保険者代表】

インセンティブ制度のあり方についても、引き続き評議会においても議論をしていただきたい。

2. 令和7年度千葉支部保険料率について【審議事項】

【事業主代表】

千葉支部の保険料率が全国の中で低い方に位置している1つの理由として、加入者一人当たり医療費が全国と比較して低いことがあげられるが、どれほどの額の差があるのか。

【事務局】

令和5年度の加入者1人当たり保険給付費（年齢調整前）について、全国平均が18万1千円であるのに対し、千葉支部は17万6千円であり、全国平均と比較して低い結果であった。

【被保険者代表】

令和7年度千葉支部保険料率は令和6年度よりわずか0.02%ポイントの上昇ではあるが、中小企業は賃上げにより従業員の給料も上がり、それに伴い社会保険料の負担も増加している。今後、保険料未納の問題も懸念されるので、これ以上負担が増えぬよう、できる限り長く平均保険料率10%を維持できる財政運営を行っていただきたい。

【学識経験者】

中長期的に安定した財政運営を行い、平均保険料率10%を維持していただきたい。

3. 令和7年度支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について【審議事項】

【学識経験者】

喫煙習慣のある被保険者に対する啓発事業について、ターゲットを3パターンに分類して実施していくという中で、「中学生以下の子を持つ者」という基準があるが、この基準を設定した理由は何か。

【事務局】

小さい子どもがいるという家庭環境がある中で受動喫煙について意識させることを目的としている。

【学識経験者】

20代かそれ以上かという年齢で分類するのはどうか。20代の方は吸い始めてからまだ年数が浅いため、やめる機会が多い世代である。一方で、喫煙歴が長いと予想される30代以上の方では多少アプローチの仕方が変わってくると思う。

【事務局】

仰るとおり、若年層へ働きかけることは重要と考えるが、生活習慣病予防健診の対象が35歳以上であるため、データ抽出も35歳以上に限られてしまうことがあり、本事業の分類を「男性、女性、中学生以下の子を持つ者」としている。

【学識経験者】

35歳以上でも年齢が若い方と何十年も喫煙歴がある方では違ってくるのでその点も踏まえて実施していただきたい。

【学識経験者】

ジェネリック医薬品の使用促進について、薬剤師会と連携して薬局への働きかけは既に実施しているとのことであるが、処方するにあたっては医師の意見が強く反映されるため、薬剤師会のみならず、医師会等の関係団体にも働きかけを行っていただきたい。

【学識経験者】

令和7年度事業において興味深く期待が持てる施策が多いが、事業実施した後の効果検証も大事である。アウトカムと事業実施との関連を検証することは難しいと思うが、事業実施によって生じた変化等は評議会でも報告していただきたい。また、効果検証等の実施にあたってはデータを活用して分析できる人材の育成も非常に重要であるので注力していただきたい。

4. その他報告について【報告事項】

特に意見なし。

特記事項

・次回は令和7年3月7日（金）に開催予定。